

# 薬学部

楽しく学ぼう!

2019 8 17

模擬授業

体験実習

オープンラボ

ガイド

### 薬学部・オープンキャンパス タイムスケジュール

◆ 薬学科のご説明(できるだけご参加ください)(3階303教室)

11:20~11:50

◆ 模擬授業 (3階303教室) 「心臓はどうして左に? 細胞のアンテナ「繊毛」の不思議」 11:50~12:20

◆ 体験実習 (4階436 SGD大講義室) 「セミナー科目を体験してみよう」

1回目 10:40~ 2回目 13:00~ 見学自由

◆オープンラボ① (3階315 専門ラボ1) 「身の回りに潜む有害物質をはかる」

 $10:00\sim11:30$   $12:30\sim14:30$ 

◆オープンラボ② (3階312 専門ラボ3) 「がん細胞と闘うビフィズス菌をみてみよう」

10:00~14:30

◆薬学生や先生と話してみよう (5階アリーナ薬学部ブース) 「薬学のこと、薬剤師のこと、なんでも訊いてみよう」

10:00~15:00

#### その他(全学部共通)

学食体験 11:00-14:30 (ラストオーダー 14:15) (1階 学生食堂)

入試概要説明 ①10:30-11:10 ②12:50-13:30 (2階 225教室)

面接対策講座 ①10:40-11:10 ②13:50-14:20 (①4階 442教室)

(②2階 225教室)

入試・学生生活・宿舎相談 10:00-15:00 (5階 アリーナ)

宿舎相談 10:00-15:00 (5階 501教室)

キャンパスツアー 10:30-14:40(随時) (1階で受付)

メディアライブラリーセンター (図書館) 10:00-15:00 (8階)



模擬授業 (11:50-12:20)

(3階 303教室)

### 心臓はどうして左に?細胞の アンテナ「繊毛」の不思議

・人の心臓はどうして左にできるのでしょうか?左右非対称性を 決める細胞内の小さなアンテナ、「繊毛」の役割について、最新 の知見を踏まえてご紹介します。

講師 金 憲誠(きむ・ほんそん)

心臓はどうして左に?細胞のアンテナ「繊毛」の不思議



なんでも不思議に思っ てそして考える習慣を 身につけましょう。

神戸大学大学院自然科学研 究科修了、博士(理学)、 理化学研究所神戸研究所 • 研究員、関西学院大学理工 学研究科生命科学科・博士 研究員を経て現在帝京平成 大学薬学部にて生物系薬学 概論、生物系実習の講義を 担当しています。



### 体験実習

セミナー科目を体験してみよう

会場: S G D ルーム (4階 436)

体験実習時間(1回20分程度)

1回目10:40 2回目13:00 (定員制:見学は自由です)

高齢化社会が問題となる中、医療職として薬剤師も高齢者の視点に立った態度が求められます。本学のセミナー科目では1年生において高齢者の立場を理解するために、「(身体的な)不自由体験」を教育プログラムに取り入れています。

この実習では、様々な体験を通して高齢者医療における薬剤師の役割について考えたいと思います。



高齢者体験(装具装着)



車いす体験

不自由体験のサイクル

視覚障害者体験

#### お年寄りをいたわるように、しっかり介添えしないとね?



8月17、18日共通



調節運動能力を80歳前後に低下させる 高齢者疑似体験装具を装着 画像:「京都科学オンラインカタログ」より

担当教員(五十音順) 社会薬学教育研究センター 荒川一郎、鈴木政雄、 田村京子、西村哲治

### オープンラボ

## 身の回りに潜む有害物質をはかる

会場:専門ラボ1・2(3階315室)

時間:10:00~11:30 / 12:30~14:30

豊かな社会生活に欠かせない化学物質を 安全にかつ安心して利用するには、化学物質を適切に管理することが不可欠です。 そのために、化学物質のばくろ量\*と有害性 を調べて、科学的手法によって化学物質の 健康リスク評価を行っています。



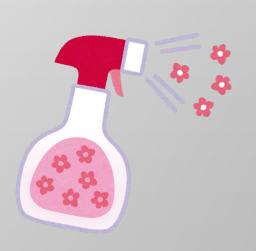
(\*ばくろ量:触れたり吸ったり食べたりして体内に入る量)



オープンラボでは、研究の一環として 実施した、身の回りの製品に含まれてい る可能性がある有害物質の分析例を紹介 します。







担当: 創薬基盤教育研究部門

薬品分析学ユニット 伊佐間和郎・岸 智裕



#### オープンラボ

薬学のラボを体験しよう!!

### がん細胞と闘うビフィズス菌をみてみよう

会場・時間

専門ラボ3 (3階312) 10:00~14:30

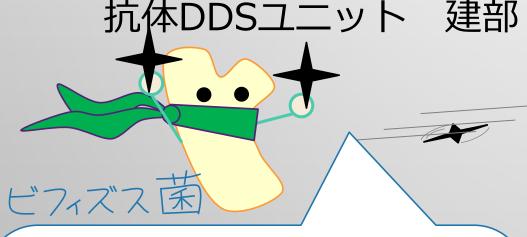
現在、国内で医療に使われる費用(医療費)は増え続けています。中でも、がんは患者さんの数の増加と高価な医薬品のために、医療費が増える大きな要因となっています。

私たちの研究グループでは、これまでの医薬品開発の歴史の中で、途中で開発を打ち切られてしまったものを復活させ、時間とお金をかけずによく効く治療法を開発しようとしています。

その研究から生まれたのが、ビフィズス菌を使ったがん治療法です。今回のオープンラボでは、ビフィズス菌をどのようにがんと戦わせているのか、その戦略や、実際にビフィズス菌を培養しているところなどを見ることができます。

#### 担当教員

抗体DDSユニット 斎藤 浩美 抗体DDSユニット 建部 卓也





がん細胞のいるところにすばやく近づいて、秘密の武器でがん細胞をねらい撃ち!

みんなのおなかの中にいる仲間と一 味ちがう私たちを見に来てね! ぼくも活躍するよ! どんな活躍かはオープンラボに 来てみてのお楽しみ!

